校訓　「信愛・協和・自律」

上磯高校通信

令和５年 12 月 20 日発行
北 海 道 上 磯 高 等 学 校

北斗市中野通３丁目６－１
TEL ０１３８（７３）２３０４

後期の締めくくりへ

北海道上磯高等学校長　藤　井　浩　之

10月に前期を締めくくったばかりの感覚でいましたが夏の猛暑が嘘のように頬に感じる海風はやはり冷たく、本格的な冬に突入してまいりました。

３年生は自宅学習に入るまで平常登校は１月までとなり卒業までにカウントダウンしていく時期になりました。１．２年生はそれぞれが進級に向けての締めくくりを意識し毎日を送るべき時期になったということです。そして、校長として生徒達に願うことはこれまでと同じで、高校生活の佳き思い出を一つでも多く足跡として刻んでほしい、ということです。

保護者や地域の皆さまにおかれましても、これまでと変わらぬご支援とご協力を改めてお願い申し上げます。

見学旅行に行ってきました！

11月７日（火）～10日（金）、２年生は３泊４日の見学旅行に行ってきました。京都、奈良、大阪を訪問し、歴史の重みや先人の偉大さに触れたり、北海道とは異なる風習や景観に驚いたり、学びの多い４日間となりました。生徒達は互いによく助け合い、訪問先へは敬意を持って接しており、また、見知らぬ町での自主研修でも時間どおりに帰着するなど、非常に頼もしい一面をのぞかせる素晴らしい見学旅行となりました。

他にも上磯高校HPに掲載中

（裏面に続きます）

学校生活のご紹介

＜北斗市青少年の主張＞

10月７日（土）令和５年度北斗市青少年育成大会「青少年の主張」が開催されました。北斗市内の各学校から10名が参加し、本校からは２年生沼岡青空さんが出場しました。演題は「当たり前から小さな気づき」。普段私たちが当たり前と感じていることが、世界では決して当たり前ではないという主張が３つの事例を通じて発表されました。

＜各種標語に２名が入選＞

令和５年度「北海道学び推進月間」標語において、１年生の佐々木美桜さんの作品「いつまでも学びつづける人生を」が渡島教育局奨励賞を受賞しました。

また令和５年度「絆づくりメッセージコンクール」において２年生の梅本瑞生くんの作品「『大丈夫？』その一言で変わる未来」が高等学校校長協会奨励賞を受賞しました。

＜防災クラブが大活躍　～高校生防災サミット＆学校開放講座～＞

10月30日（月）北海道高校生防災サミットが開催されました。本校防災クラブ５名が渡島振興局よりオンラインで全道の高校に向けて実践発表を行いました。また、11月12日（日）には防災クラブ主催による第2回学校開放講座を行いました。北斗市の防災担当の方々と連携し、地域の皆さんにお集まりいただき、「もし上磯高校が災害時の避難所になったら」という想定で、避難所設営訓練を行いました。

＜保育体験＞

11月28日（火）は2年生が東光保育園にお邪魔し、乳幼児との関わり方などを学ぶ「保育体験」を行いました。元気いっぱいの園児の皆さんに囲まれ、ゲームをしたりおしゃべりをしたり童心に返った1日でした。

＜北斗高等支援学校との連携　～デュアル実習体験～　＞

11月29日（水）は北斗高等支援学校の施設実習に同行し、高齢者福祉施設での「業務体験」を行いました。２年生が参加し、北斗の生徒さんに教えてもらいながらカバー交換等の業務を学びました。

＜新聞を活用した取り組み＞

12月４（月）～８日（金）、１年生の「公共」において、新聞を活用した授業を行いました。これは北海道教育委員会を通じて日本新聞販売協会北海道地区本部からの依頼を受け、新聞を活用した授業実践の成果等を各学校に普及するモデル校として実施されものです。

授業では新聞や活用しながら、地域の抱える問題を理解し、どうしたら解決できるのかを検討していきました。この授業の様子は12月５日（火）の朝日新聞および読売新聞、12月９日（土）の北海道新聞、12月11日（火）の函館新聞に掲載されましたので、よろしければご覧ください。